



H.248 設定可能 VRF

以前のリリースでは、H.248 アソシエーションの設定に使用できたのは、デフォルトの VRF だけでした。DBE では現在、他の VRF 名を使用できます。この拡張によって、DBE で VRF 名を使用し、コントロールアドレスおよびリモートアドレスを設定できます。

H.248 設定可能 VRF の機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.5.1	この機能は、Cisco XR 12000 シリーズ ルータで導入されました。

内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- [「H.248 設定可能 VRF に関する情報」 \(P.415\)](#)
- [「H.248 VRF の設定方法」 \(P.415\)](#)
- [「H.248 VRF の設定：例」 \(P.417\)](#)
- [「その他の関連資料」 \(P.417\)](#)

H.248 設定可能 VRF に関する情報

DBE は H.248 プロトコルを使用してメディア ゲートウェイ コントローラ (MGC) と通信します。この MGC はこれまで、グローバル IP アドレス空間に属していなければなりません。新しい機能によって、デフォルトの VRF 名ではなく、特定の VRF 名を指定して、MGC コントローラ シグナリングアドレスを使用できるようになったので、MGC コントローラ アドレスで VPN 機能を使用できます。

H.248 VRF の設定方法

ここでは、H.248 設定可能 VRF を設定する手順を示します。

H.248 設定可能 VRF の設定

手順の概要

1. `configure`
2. `sbc service-name`
3. `dbe`
4. `vdbe [global]`
5. `control-address h248 ipv4 ipv4_address`
6. `controller h248 controller-index [vrf vrf_name]`
7. `remote-address ipv4 ipv4_address`
8. `commit`
9. `exit`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>configure</code> 例： RP/0/0/CPU0:router# <code>configure</code>	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ2	<code>sbc service-name</code> 例： RP/0/0/CPU0:router(config)# <code>sbc mysbc</code>	SBC サービスのモードを開始します。 <code>service-name</code> 引数を使用して、SBC の名前を定義します。
ステップ3	<code>dbe</code> 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc)# <code>dbe</code>	SBC の Data Border Element (DBE) 機能のモードを開始します。
ステップ4	<code>vdbe [global]</code> 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe)# <code>vdbe</code>	仮想 DBE (vDBE) パラメータを設定するモードを開始します。
ステップ5	<code>control-address h248 ipv4 ipv4_address</code> 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe)# <code>control-address h248 ipv4 10.2.0.10</code>	特定の VRF 名を指定して、vDBE の制御アドレスを設定します。 設定オプションを取り消すには、このコマンドの no 形式を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • <code>ipv4_address</code> : この H.248 アソシエーションに割り当てる IPv4 アドレス。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ6	<pre>controller h248 controller-index [vrf vrf_name]</pre> <p>例 :</p> <pre>RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe)# controller h248 1 vrf vrf1</pre>	<p>vDBE H.248 コントローラに対応するインデックスおよび VRF 名を設定します。</p> <p>設定オプションを取り消すには、このコマンドの no 形式を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> controller-index : メディア コントローラのインデックス。値は 1 ~ 4294967295 です。この値は必須です。デフォルトはありません。 vrf_name : vDBE H.248 コントローラ用のリモートアドレスとして選択した、特定のバーチャルプライベートネットワークの名前。
ステップ7	<pre>remote-address ipv4 ipv4_address</pre> <p>例 :</p> <pre>RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-h248)# remote-address ipv4 34.34.34.34</pre>	<p>vDBE H.248 コントローラ用のリモートアドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ipv4_address : この H.248 アソシエーションに割り当てる IPv4 アドレス。
ステップ8	<pre>commit</pre> <p>例 :</p> <pre>RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-h248)# commit</pre>	<p>設定変更を保存します。実行コンフィギュレーションファイルに変更を保存し、コンフィギュレーションセッションを継続するには、commit コマンドを使用します。</p>
ステップ9	<pre>exit</pre> <p>例 :</p> <pre>RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-h248)# exit</pre>	<p>現在のコンフィギュレーションモードを終了します。</p>

H.248 VRF の設定 : 例

次に、H.248 VRF を設定する例を示します。

```
config
sbc siptest
dbr
vdbe
control-address h248 ipv4 10.2.0.10
controller h248 1
vrf vrf1
remote-address ipv4 34.34.34.34
```

その他の関連資料

ここでは、H.248 VRF の設定に関する関連資料について説明します。

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	—

MIB

MIB	MIB のリンク
—	Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。 http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	http://www.cisco.com/en/US/support/index.html